

残存型枠テクノロジー動画のご紹介



全国型枠工業会

そもそも残存型枠とは？

定義：薄肉プレキャスト・セメントコンクリート製の型枠製品と組立部材を使用し、コンクリート打設後の脱型作業を必要としない型枠。

出典：平成16年5月10日付 国土交通省 事務連絡「残存型枠に関する特記仕様書記載例について」

残存型枠の弱点

1. 型枠の脱型をしないため、コンクリートの締固め状況が施工後に目視(確認)できない。
2. 薄肉プレキャスト・セメントコンクリート製のため、内蔵補強材や組立部材が中性化や塩害の被害を受けやすい。
→**防錆処理が構造物の維持管理の上で重要となる。**

『真の残存型枠』による弱点対策とは？

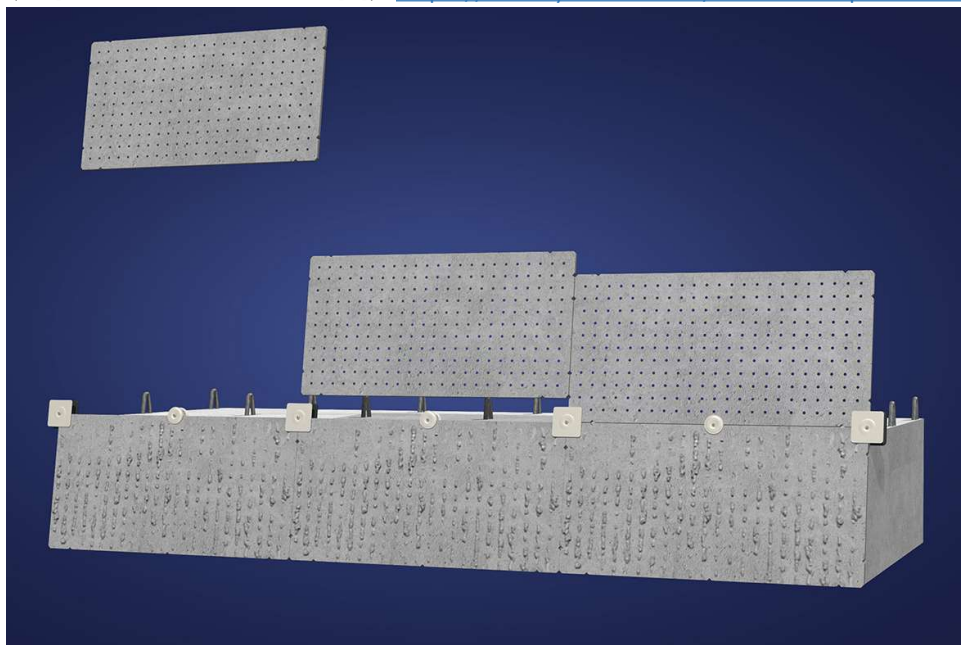
- ・残存型枠の充填確認と本体コンクリートの一体性が確認できる。
- ・鋼材の防錆についても十分な性能を有する。

以上について、フルCGの動画で分かりやすく解説!!

Google検索もしくはQRコードから、YouTubeでご視聴下さい。➡

下記YouTubeのリンク先からもご視聴いただけます。

〔残存型枠テクノロジー動画〕 <https://www.youtube.com/watch?v=l-iptR1czTM>



検索 Google

残存 テクノロジー

残存型枠
テクノロジー動画
QRコード

